

令和 7 年度 事 業 報 告

1 はじめに

今年度は団塊世代最後の年代が後期高齢者となり、少子高齢化や人口減少が更に進む一方、地方公共団体や民間企業においても質の高い労働力を維持するため、引き続き定年延長を実施していることから、地方公共団体や民間企業で働く高齢者が増加しています。そうした中ではあっても、シルバー人材センターは、高齢者が豊富な知識と経験を生かし、就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、組織の充実強化に更に取り組んでいく必要があります。その為にもシルバー人材センターの中心的な仕事である草刈り、草取り、剪定作業等の環境美化活動の他に、同世代を支える就業先、次世代を支える就業先、そして地域社会を支える就業先等、魅力ある就業先の確保や人手不足企業への就業開拓の取り組みに努めてまいりました。

シルバー人材センターの組織にとって会員拡大は不可欠なものです。これ迄全シ協の「第2次会員100万人達成計画」を実施してきましたが、令和7年度からはこれを検証しつつ令和12年度までの6年間で「10万人超の会員数純増」を目標にしております。これに伴い当センターでも6年計画をたて、各年度末5名ずつの増加目標を掲げて会員拡大に取り組み、令和7年度末目標の317名に対し、335名の実績となり、目標を達成することができました。

2 対前年度との比較

(1) 会員数 (人)

(令和 8 年 3 月末)

	男 性	女 性	合 計	対前年度比%
令和 6 年度	1 8 4	1 2 8	3 1 2	
令和 7 年度	1 8 0	1 5 5	3 3 5	1 0 7 %
増 減	▲ 4	2 7	2 3	

(2) 請負・委任

(令和 8 年 3 月末)

	件 数	金 額 (千円)	延人員 (人)
令和 6 年度	2, 9 3 0	1 1 1, 8 8 9	1 6, 1 5 6
令和 7 年度	2, 7 5 1	1 1 2, 9 0 1	1 5, 5 7 5
増 減	▲ 1 7 9	1, 0 1 2	▲ 5 8 1

(3) 派 遣

(令和 8 年 3 月末)

	件 数	金 額 (千円)	延人員 (人)
令和 6 年度	1 2 0	3 8, 8 0 6	8, 6 7 9
令和 7 年度	1 5 1	3 9, 4 2 6	8, 5 2 6
増 減	3 1	6 2 0	▲ 1 5 3

(4) 総 計 (請負・委任・派遣)

(令和 8 年 3 月末)

	件 数	金 額 (千円)	延人員 (人)
令和 6 年度	3, 0 5 0	1 5 0, 6 9 5	2 4, 8 3 5
令和 7 年度	2, 9 0 2	1 5 2, 3 2 8	2 4, 1 0 1
増 減	▲ 1 4 8	1, 6 3 3	▲ 7 3 4

3 会員の増強と組織・財政の充実強化

(1) 会員の増強

令和7年度からの全国における「10万人超の会員数純増」の計画に基づき、令和12年度までの6年計画を立て、各年度末5名ずつの増加目標を掲げ、会員拡大に取り組んでおり、月間目標の設定やチラシ配布活動、「女性会員が元気になる会」を主体としたフリーマーケット、料理教室の開催、更には会員紹介制度の浸透や就業紹介による退会者の抑制等に取り組み、本年度末目標の317名に対し335名と拡大する事が出来ました。

(2) 組織・財政の充実強化

センターの運営は国と益田市からの補助金、事務費収入が財源となっており、効果的な運営を目指し会員と役職員が一体となって就業先の拡大や会員の拡大、経費節減等に努力いたしましたが、結果的には諸物価の高騰、最低賃金改定による人件費の値上げ、インボイス制度による消費税の負担増等により、1, 118千円のマイナス計上となりました。

また、シルバー人材センターの基本理念である高齢者の「自立・自主・協働・共助」を推進していくために、高齢者でも働く意欲を持っていれば活躍できる就業環境を確保していくことが求められており、その目標に向けて事業を展開いたしました。

(3) 地域班・職群班の充実

各地域で地域班会議を開催し、請負業務に従事している会員に対し、令和8年度からの「包括契約」について説明し、業務仕様書やデジタル明示の仕組み等の周知を図ってまいりました。併せてこうした各種会議を通して会員の健康状態や仕事内容に対する要望等を聴取し、会員の仕事に対する満足度アッ

プに取り組みました。

(4) 研修等の取組

令和8年度からの「包括契約」に併せ各種会議、研修会、スマホ教室の開催等により、会員へ業務仕様書やデジタル明示の仕組み等を説明し、デジタルリテラシーの向上に努めました。

また後継者育成と事故防止を基軸とした刈り払い機取扱い講習会、剪定講習会を実施しました。

(5) 啓発事業の推進

普及啓発促進月間として、毎年実施しています会員・役職員による持石海岸の清掃活動を予定していましたが、雨天の為中止となりました。しかしながら各地域班（20班）に於いて、それぞれの地域活動にあわせたボランティア活動（小学校、公民館での草木の剪定、道路清掃等）を実施し、その状況が各新聞に掲載され、多くの方から賞賛の声を聴くことが出来ました。

また市内各公民館、商工会議所、社会福祉協議会等を訪問し、会員募集のポスター掲示、チラシ配置等啓発活動に努めました。

4 就業機会の開拓

(1) 就業機会の開拓

会員の高齢化が今後も一層進む中、80歳を超えても活躍できる就業機会確保のため、担当理事が中心となり市内大型店前でチラシ配布を実施しました。またシルバー会員の就業機会を確保することにより高齢者の社会参加を促進し、生きがい対策、健康保持増進に繋げることを目的に企業・団体を理事が訪問し、就業開拓に努めました。

また過去に依頼のあった受注について検証し、今年発注がなかった就業先に再発注依頼をするなど積極・果敢な取り組みを実施しました。

(2) 独自事業 サロンの運営

「シルバーふれあいサロン」は来客数12,197人で対前年比106パーセントでした。

今年度は新たな試みとして、益田市健康増進課や関係機関と連携して「心と体の健康づくり」を開催し、高齢者の健康維持に向けた啓発に努めました。

更に益田市リサイクルプラザや益田警察署による「各種出前講座」を開催し、「シルバーふれあいサロン」への集客に併せ、「シルバーふれあいサロン」での野菜や手芸品等の売上アップに繋げることができ、「シルバーふれあいサロン」運営の発展に努めました。

(3) 安全・適正就業の推進

ア 安全就業については「安全は全てに優先する」・「事故ゼロを目指そう」・「安全無くして就業なし」を合言葉とし、最重要課題に掲げて取り組み、今年度は、会員一人一人に機会ある毎に「自分の身は自分で守る」との安全意識を植え付ける取り組みを実施しましたが、傷害事故５件、物損事故７件と昨年度に比べ大幅に増加いたしました。来年度は「事故ゼロ」を目指し、就業前に「就業前確認表」でのチェックを徹底することで事故防止に努めます。

イ 適正就業はシルバー人材センターとして最低限守らなければならない事項であり、コンプライアンスの遵守に努め、偽装請負を排除し、適正就業に努めます。